

# 陸上自衛隊 第2師団

## 第2特科連隊と第2対舟艇対戦車中隊訓練検閲

陸上自衛隊第2師団(師団長・友部薫陸将)は、平成25年10月11日から16日まで、北海道別海町の矢白別演習場で、第2特科連隊(連隊長・南一佐)と第2対舟艇対戦車中隊(中隊長・松田三佐)に対し夏季訓練検閲を行った。この検閲は、実動・実射訓練検閲を実施し、教育訓練の成果を評価することと、その進歩向上を促すことが目的。車両前進・師団の陣地防御における火力戦闘を課目に実施した。

演習師団の任務は、「矢白別隘路に陣地防御し、侵攻する敵を阻止し方面隊を掩護する」と設定。訓練開始にあたり統裁官である友部陸将は、「正確・迅速・強靱な火力の発揮」、「基本的行動及び基礎動作の確行」を要望し訓練が開始された。



第2特科連隊の99式155mm 自走りゅう弾砲



日本で一番広い演習場 訓練開始前の緊迫した矢白別演習場



### 2師団長 友部 薫 陸将 師団長統率方針「任務必成」

「北鎮師団」という別名を持つ精鋭部隊、陸上自衛隊第2師団は、新鋭装備を持つ総合近代化師団であり、平成19年以來、陸上自衛隊の先進化の魁として部隊実験を担当する IT 師団である。また、昨年は米陸軍とヤキマ演習場で協同訓練を行った。

今回の演習は、「陣地防御」と「実弾射撃」の訓練成果を評価するために実施された。

人の手で作った掩体の中には、最新鋭のシステム装置が…。師団 CP では、広域にある各部隊等から送られる情報等を一元的に指揮統制できるため、情報と火力の迅速で的確な一元運用が可能となっている。



訓練をコントロールする統裁部



耳をつんざく99式155mm 自走りゅう弾砲射撃



状況中の隊員 土砂降りの中何時間も濡れたまま



特科中隊のCP 狭く暗い所では気が入るので、土の周りにレースのカーテンを敷き詰めていた



師団特科連隊指揮所 空気孔もあり出入口も2カ所ある大きな掩体

北鎮の重鎮吠える！

### 第2対舟艇対戦車中隊

2師団に新編されてから約2年半を経て「戦力化」の時期を迎え初となる訓練検閲。人員約80名、5コ発射機をもって先に佐多射撃場で行われた対舟艇射撃の評価と総合して評価された。

夜間における作戦地域への前進から射撃陣地の準備を済ませた後、対機甲戦闘を遂行し初受閲を終了した。



99SP 大集結



第2対舟艇対戦車中隊の96式多目的誘導弾システム



第2特科連隊 陣地進入



防衛準備 土埃はハンパない！



師団特科連隊指揮所 構築中 土や土囊の積み方が美しい

統裁官は、「本訓練検閲で得た成果を確実に積み上げ、与えられた如何なる厳しい任務をも「任務必成」できる部隊の練成に邁進せよ。」と、訓示し本訓練検閲を終了した。



96式多目的誘導弾システム射撃



演習場内には鹿も生息！

多連装ロケットシステムを実施できるのは日本でここだけ



防衛準備 掘った土、始めは遠くへ



第2特科連隊 火砲陣地構築



有線システムを構築